

# リツヤ湾大津波

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

リツヤ湾大津波(リツヤわんおおつなみ)とは、1958年7月9日、アメリカ合衆国アラスカ州のリツヤ湾(Lituya Bay)で発生した津波である。フィヨルドであるリツヤ湾の斜面が地震によって崩落し、海中になだれ込んだ土砂や氷塊で大波が発生した。波高はその対岸で524メートルに達し、これは観測史上最高とされる。

## 目次

- 1 リツヤ湾と大津波
- 2 脚注
- 3 参考文献
- 4 関連項目

## リツヤ湾と大津波

リツヤ湾(Lituya Bay)はアメリカ合衆国のアラスカ州の州都ジュノーの西方約200kmに位置する。岩盤が氷河に削られることで形成された危険なフィヨルドで、奥行き約12km、幅約3kmと細長く、湾の奥でT字型に曲がった両側から氷河が流れ込んでいる。

1958年7月9日、現地でM7.7の地震が発生し、湾の奥で大規模な山体崩落が起こった。それによって海中になだれ込んだ大量の土砂や氷塊により、湾内で巨大な水しぶきが発生、沿岸は高さ500m以上に及ぶ津波に見舞われた。波に押し倒された樹木の痕跡から推量した波の高さは524メートル(1,720 feet)に及び、それはエンパイアステートビルより143メートル高い、観測史上最高の高さである。

津波発生当時、周辺には3隻の漁船が停泊していたが、そのうち1隻が沈没し、2人の船員が死亡した。他の2隻は無事であった。人跡未踏の地ゆえ、この2名以外の人的被害はない。

なお、リツヤ湾は過去120年間に5回の巨大津波が発生している<sup>[1]</sup>。

## 脚注

- ↑ 宇野木早苗、久保田雅久『海洋の波と流れの科学』p103。

## 参考文献

- 宇野木早苗、久保田雅久『海洋の波と流れの科学』東海大学出版会、1996年、ISBN 4-486-01380-8

## 関連項目

- リツヤ湾

「<http://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=%E3%83%AA%E3%83%84%E3%83%A4%E6%B9%BB%E5%A4%A7%E6%B4%A5%E6%B3%A2&oldid=40711155>」より作成  
カテゴリ: 津波 | アラスカ州の歴史 | 1958年の災害

- 最終更新 2012年1月8日 (日) 00:16 (日時は個人設定で未設定ならばUTC)。
- テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。

甲第 30 号証  
甲第全29号証



津波の翌週のリツヤ湾の航空写真。沿岸の明るい地帯は、津波で樹木を剥がされた森林の跡である。



津波の力で倒された樹木。